

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-176	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ 104-901	Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced		

<h2>1. 編修の基本方針</h2> <p>編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。 2. 言語材料に関しては、中学校および「論理・表現Ⅰ」との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用して論理的な英語表現の能力を伸ばすことが可能となるよう選定した。 3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。 </div> <p>上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身に付け、積極的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。</p>
--

<h2>2. 対照表</h2>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>図書の構成・内容</th> <th>特に意を用いた点や特色</th> <th>該当箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前見返し English Punctuation</td> <td>英語の句読法について正しい知識を習得させる。(第1号)</td> <td>前見返しⅠ・Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>後見返し ディベートで使う表現 ディスカッションで使う表現</td> <td>英語でディベートやディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</td> <td>後見返しⅢ・Ⅳ</td> </tr> <tr> <td>はじめに</td> <td>パラグラフの構成や展開について基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</td> <td>5～6ページ</td> </tr> <tr> <td>Part 1 Lesson 1～5, Part 2 Lesson 6～10, Part 3 Lesson 11～15</td> <td>英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</td> <td>11～50ページ, 55～94ページ, 98～127ページ, Task 2 (13, 15ページほか) Goal (13, 15ページほか)</td> </tr> </tbody> </table>	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	前見返し English Punctuation	英語の句読法について正しい知識を習得させる。(第1号)	前見返しⅠ・Ⅱ	後見返し ディベートで使う表現 ディスカッションで使う表現	英語でディベートやディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	後見返しⅢ・Ⅳ	はじめに	パラグラフの構成や展開について基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	5～6ページ	Part 1 Lesson 1～5, Part 2 Lesson 6～10, Part 3 Lesson 11～15	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)	11～50ページ, 55～94ページ, 98～127ページ, Task 2 (13, 15ページほか) Goal (13, 15ページほか)
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所													
前見返し English Punctuation	英語の句読法について正しい知識を習得させる。(第1号)	前見返しⅠ・Ⅱ													
後見返し ディベートで使う表現 ディスカッションで使う表現	英語でディベートやディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	後見返しⅢ・Ⅳ													
はじめに	パラグラフの構成や展開について基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	5～6ページ													
Part 1 Lesson 1～5, Part 2 Lesson 6～10, Part 3 Lesson 11～15	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)	11～50ページ, 55～94ページ, 98～127ページ, Task 2 (13, 15ページほか) Goal (13, 15ページほか)													

	<p>か) What do you think? (18ページほか)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>言語の働き(機能)を念頭におき、様々な場面で相手の存在を意識して、より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う。また、日本と他国を比較することで、その文化に対する理解や互いを尊重する態度を養う。(第5号)</p> <p>他者と協力することの重要性や社会へ主体的に参画し、発展に寄与する態度を養う。(第3号)</p> <p>資源の節約などを主題にした教材により、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)</p> <p>社会的な問題等について理解を深め、それを表現することで、社会の一員としての責任意識を高める。(第2号)</p> <p>偉大な人物について考え、表現することにより、個人の価値を尊重し、創造性を養い、将来の職業について考える機会をもてるよう配慮した。(第2号)</p>	<p>写真・イラスト全般</p> <p>全般</p> <p>Lesson 1 (11~18ページ)</p> <p>Lesson 3 (27~34ページ) Lesson 6 (55~62ページ) Lesson 10 (87~94ページ)</p> <p>Lesson 7 (63~70ページ)</p> <p>Lesson 6 (55~62ページ) Lesson 7 (63~70ページ)</p> <p>Lesson 15 (122~127ページ)</p>
How to express yourself ①~③	場面による表現の使い分け、イラスト・図表の説明の仕方、文章の要約の仕方などに関する基本的な知識を習得する。(第1号)	51~52ページ 95~96ページ 128~129ページ
スピーチ、プレゼンテーションを試みよう	英語でスピーチ・プレゼンテーションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	130~133ページ
ディベートを試みよう	英語でディベートをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	134~135ページ

ディスカッションをしてみよう	英語でディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	136～137ページ
Useful Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	138～150ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特色

A. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の能力を段階的に伸ばす構成

1. トピック別の章立てで、目的や場面に応じた様々な表現を身に付けて、「話す」「書く」という表現活動につなげることができる構成になっています。
2. Part 1, Part 2 では、「話す」活動を中心とした“Let’s speak about…”を見開きの2ページで、「書く」活動を中心とした“Let’s write about…”を2ページで扱い、それぞれに設定している目標(Goal)に向かって段階的に力をつけることができる構成になっています。
3. Part 3 では、パラグラフの構成や支持文の展開の仕方を学習し、論理的な文章を書くことを目標にしています。

B. 話す・書く活動に役立つ重要表現を掲載

Expressions Plus では、重要表現を例文とともに取り上げています。Practice では確認問題を行うことができますが、問題文は各課のトピックに関連しているため、表現するための語彙を増やすことにもつながります。

C. 課末では自分の意見を述べる活動へと展開

Part 1, Part 2 課末の What do you think?では、論題に対して自分の考えを述べる活動を行うことができます。ディスカッションやディベートにつながる活動です。Part 3 課末の Extra Activity では、イラストや表に関する表現活動や自由英作文を行います。

D. 各課の活動に役立つ特集ページを用意

場面に応じた表現の使い分けや丁寧な表現、イラストや図表の説明の仕方、文章の要約の仕方などについて、例を用いてわかりやすく解説しています。

II. 各課の構成

A. 正課：表現の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

①Part 1・2

1. 導入ページ

- a) 各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。
- b) トピックに関連した写真描写などのリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動を行います。

2. Let’s speak about… (「話す」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：写真やグラフ、表など情報を含む素材と、各課のトピックに関連する会話文を掲載しています。会話文に出てきた重要表現は、Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げています。
- b) 右ページ：左ページの会話文についての情報を整理する活動と、整理した情報を参考にしながら、機能表現を使って自分の考えなどを表現する・ペアで話し合う活動、さらに話し合った内容について発表する・質問に答える活動を行うことができます。

3. Let’s write about… (「書く」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：さまざまな形式の文章(メール、ブログ、投稿記事、スピーチ原稿など)をモデル文として用意しました。モデル文に関する簡単な問題を設けています。モデル文に出てきた重要表現は Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げています。
- b) 右ページ：モデル文を参考にして、学習した表現を用いて、自分の考えや情報について表現します。70～90語程度のもまとまった文章を書く活動を行います。

4. Expressions Plus (Basic/Functional Expressions に関連した重要表現のまとめ)

- a) 左ページ：各課の Basic/Functional Expressions で取り上げた重要表現に加えて、関連する事項を例文とともにまとめました。
- b) 右ページ：重要表現を確認するための問題を載せています。問題文の内容は各課のトピックに関連したものとなっており、使用されている語彙や表現を様々な活動の際に活用することができます。

5. 課末ページ (What do you think?)

各課のトピックに関する論題について自分の意見を表現する活動です。ディベートやディスカッションにつながる内容になっています。表現活動に使えるフレーズ例もあわせて掲載しています。

③Part 3

1. 導入ページ

各課で学んで達成する目標を 3 領域に分けて提示しています。

2. パラグラフの構成・展開パターン

教科書巻頭の「はじめに」で解説したパラグラフの構成・展開パターンの中で、その課で扱うものについて、例文を用いてさらに解説しています。

3. 資料と活動

- a) グラフや表、雑誌のページ、ウェブページなどを活動の資料として扱います。
- b) 資料や文章を読んで、内容の確認をしたあとで、グループもしくはペアでやり取りをする活動を行います。自分の考えをまとめ、Goal では、パラグラフの構成を意識しながら、英文を書きます。
- c) Extra Activity では、イラストや表を使った表現活動や自由英作文を行うことができます。

B. 正課以外

1. 「はじめに」のページでは、Part 3 で扱うパラグラフの展開例について、例文とともに概要を説明しています。
2. How to express yourself ①～③では、場面応じた表現の使い分け、イラストや図表の説明の仕方、要約の仕方についてまとめました。
3. 各課のテーマに関連する語句を Useful Expressions としてまとめ、表現活動に適宜使えるようなものとししました。
4. 前見返しでは、English Punctuation として、英文を読んだり書いたりする上で役立つ基本的な句読法をまとめました。後見返しでは、ディベートで使う表現とディスカッションで使う表現を掲載しました。

◆教材配当表 <B5判・152ページ・4色>

課	タイトル	学習事項
	はじめに	パラグラフの展開パターン
Part 1 : Basic Expressions (文法の復習)		
1	Have you ever experienced any cultural differences? 【文化】	さまざまな主語の形
2	Your shopping habits 【買い物】	さまざまな動詞の形
3	How to plan successful events 【交流・イベント】	名詞の働きをする表現
4	Technology and healthcare 【医療・テクノロジー】	形容詞の働きをする表現
5	In person or online? 【エンターテインメント】	副詞の働きをする表現
How to express yourself ① 場面に応じた表現を使い分けよう		場面に合った表現, 丁寧さの表し方
Part 2 : Functional Expressions (機能表現)		
6	Making life better 【社会・生活】	感情を表す
7	Think before you throw things away 【環境問題】	助言する・忠告する／必要・義務を表す
8	Visiting a new place 【世界・旅行】	勧誘する・提案する／依頼する
9	Where would you like to live in the future? 【暮らし・将来】	賛成する／反対する
10	Which candidate is the right person? 【選挙・リーダーシップ】	意見を述べる／希望を述べる
How to express yourself ② イラストや図表を説明してみよう		イラストや写真, グラフの描写の仕方
Part 3 : Express Yourself Logically (論理的な自己表現活動)		
11	Advertising a language school 【外国語学習】	パラグラフの構成
12	Inventions and discoveries 【発明】	例示・列挙
13	Posting videos online 【インターネット・職業】	比較・対照
14	Resolving difficult situations 【問題解決】	原因・結果
15	Speaking about great people 【偉人・歴史】	時間的順序・手順
How to express yourself ③ 文章を要約してみよう		英語の要約の仕方
	スピーチ, プレゼンテーションをしてみよう	
	ディベートをしてみよう	
	ディスカッションをしてみよう	

*その他, English Punctuation [前見返し], ディベートで使う表現/ディスカッションで使う表現 [後見返し], テーマ別表現のまとめ Useful Expressions [pp.138~150] を収録.

*二次元コードにより, Part 1,2 各課の What do you think?のテーマ解説スライドを参考情報として提供.

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-176	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ 104-901	Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は, 学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容を取り揃えた。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため, 問題演習の指示文は英語を用いた。また, 表現活動を行いやすいように, モデルとなる会話文やパラグラフを用意し, 適宜支援を与えるようにした。
- C. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い, さまざまな活動を通じて, 論理的に話すことや, 論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に行えるように心がけた。
- D. 多様な観点や立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面や状況を設定することで, 学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書(教育基本法との対照表)」をご参照ください。

A. Part 1, Part 2

1. 導入

- ① CAN-DO : 各課で達成する目標を3領域(「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
- ② トビラ写真 : 題材への興味を喚起する写真を載せています。
- ③ Before you start... : 写真に関するリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動で導入できます。

2. Let's speak about...

- ① 二次元コード : 会話文と例文のリスニング, 音読・発音練習を行います。
- ② 写真・資料等 : 各課のテーマに関連する写真や図表, ポスター, ウェブページなど様々な形式の素材を提示しています。
- ③ Model Dialog : 各課のテーマに関連する会話文を掲載しています。この会話文をモデルとして, やり取りや発表の活動につなげます。
- ④ Listening Quiz : 会話文の内容に関する簡単なリスニングクイズです。
- ⑤ Basic Expressions / Functional Expressions : 会話文に出てくる重要表現を取り上げて簡単に解説しています。
- ⑥ Task 1 : Model Dialog についての情報を整理しながら重要表現も定着させます。
- ⑦ Task 2 : Task 1 で整理した情報を参考にしながら, 重要表現を使って自分のことを表現したり, ペアで話し合ったりする活動を行います。
- ⑧ Goal : 話し合った内容について発表する活動です。また, 発表した内容について質問をしたり, それに答えたりします。発表する内容の例を示して, 表現活動の支援と

なるようにしています。また、評価するポイントとして **Check list** を掲載しています。

- ⑨ **TRY** : 各課のテーマに関して自分のことを表現する活動を行います。

3. Let's write about...

- ① 二次元コード : モデル文と例文のリスニング, 音読・発音練習を行います。
② **Listening Quiz** : 会話文を聴いてリスニングクイズを行います。
③ **Model Passage** (モデル文) : メール, ブログ, 掲示, 投稿記事など様々な形式の文章を扱います。
④ **Task 1** : モデル文に関する簡単な確認問題です。
⑤ **Basic Expressions / Functional Expressions** : モデル文中に含まれる重要表現を取り上げ, 簡単な解説を付けています。
⑥ **Task 2** : 自分のことに関する英問英答の問題です。まとまった文章を書くための準備の段階の活動です。
⑦ **Goal** : Task 2 の内容を使ってまとまった文章を書く活動です。
⑧ **TRY** : 書いた内容について話し合ったり発表したりする活動につなげます。

4. Expressions Plus

- ① **文法の解説・例文** : Let's speak about... / Let's write about...のBasic/Functional Expressionsで取り上げた表現とそれに関連した事項を例文とともに取り上げ, 解説を付けています。
② **Practice** : 左ページの解説や例文の内容を確認する問題です。各課のトピックに関連する問題文になっているため, 語彙や表現を身に付けることもできます。

5. 課末

- ① **What do you think?** : ディベートやディスカッションにつながる活動です。日常的なものから社会的なものまで様々なテーマを扱います。二次元コードからテーマ解説スライドを見ることができます。
② **語句・表現例** : テーマに関して自分の意見を言うための支援となる語句や表現をまとめています。
③ **CAN-DO Self-review** : 導入のページで提示した目標の到達度を確認できるチェックリストを設けています。

B. Part 3

1. 導入

- ① **CAN-DO** : 各課で達成する目標を 3 領域(「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
② **トビラ写真** : 題材への興味を喚起する写真を載せています。
③ **パラグラフの構成・展開パターン** : 教科書巻頭の「はじめに」で解説したパラグラフの構成・展開パターンの中で, その課で扱うものについて, 例文を用いて解説しています。

2. Express Yourself Logically

- ① **資料や文章** : 素材となるグラフや表などの資料や, その資料に関連する内容の文章などを掲載しています。
② **Listening Quiz** : 会話文の内容に関するリスニングクイズです。
③ **Task 1** : ①の文章の内容に関する要約文を完成させる問題です。
④ **Task 2** : 内容に関して, グループもしくはペアで質問し合う活動です。様々な視点からの意見を知ることになり, 自己表現活動に役立てることができます。
⑤ **Task 3** : 論理的に自分の意見を述べる前段階として, 伝えたい内容を表にまとめます。

- ⑥ **Goal** : Task3 の内容を参考にして自分の意見などを書く活動を行います。
- ⑦ **TRY** : Goal で書いた内容を発表する活動です。

3. 課末

- ⑪ **CAN-DO Self-review** : CAN-DO を自己評価できるチェックリストです。
- ⑫ **Extra Activity** : 各課のトピックに関連する内容の問題で、イラストやグラフなどを使った英作文などや発展的な問題に取り組むことができます。

C. その他

1. 前見返し : 英語の句読法を具体例とともに解説しています。
2. はじめに : パラグラフの構成や展開について例を挙げて簡単に解説しています。
3. **How to express yourself ①～③** : 各課で「話す(やり取り)」、「話す(発表)」、「書く」活動をするために役立つ解説をまとめています。
4. **Useful Expressions** : 各課のテーマに関連する語句を一覧にしています。表現活動をする際に役立つことができます。
5. 後見返し : ディベートやディスカッションをする際に活用できる語句を一覧にしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し English Punctuation	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II	—
はじめに	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	5～6ページ	2
Part 1 Lesson 1～5 Part 2 Lesson 6～10	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現 I」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現 I」の 3 と同様に扱うものとする。	内容 (1) Basic Expressions (12, 14ページほか) Functional Expressions (56, 58ページほか) (2) Model Dialog/Model Passage (12, 14ページほか) Task 1 (13, 14ページほか) Task 2 (13, 15ページほか) Goal (13, 15ページほか) TRY (13, 15ページほか) (3) ① Task 2 (13, 15ページほか) Goal (13, 15ページほか) TRY (13, 15ページほか) ② Basic Expressions (12, 14ページほか) Functional Expressions (56, 58ページほか) 内容の取扱い 上記(2)と同じ	40

Part 3 Lesson 10～15	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現 I」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項</p> <p>内容の取扱い 「論理・表現 I」の 3 と同様に扱うものとする。</p>	<p>内容</p> <p>(1) Check the Logic Patterns (99ページほか)</p> <p>(2) Express Yourself Logically (100～102ページほか)</p> <p>(3) ① Task 2 (101ページほか) Task 3 (102ページほか) Goal (102ページほか) TRY (102ページほか)</p> <p>② Check the Logic Patterns (99ページほか)</p> <p>内容の取扱い 上記(2)と同じ</p>	20
How to express yourself ①～③	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと</p>	51～52ページ, 95～96ページ, 128～129ページ	3
スピーチ, プレゼンテーションをしてみよう	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと [発表]</p>	130～133ページ	3
ディベートをしてみよう ディスカッションをしてみよう	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>(3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表]</p>	134～137ページ	3
Useful Expressions	<p>内容</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(3) ② 言語の働きに関する事</p>	138～150ページ	—

	項		
後見返し ディベートで使う表現 ディスカッションで使う 表現	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表]	後見返しⅢ，Ⅳ	—
		計	71